

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 17 日

評価対象事業		評価者	環境保全課長	牧野 直樹
環境-19	実施事業	海浜保全事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 環境保全課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	海浜の環境保全

1 事業の目的

対象	市民等
意図	海浜の保全と活用を図るため
効果	樹林地・河川・海浜を一体としたネットワークにおいて海浜と環境と景観の保全を図る。安全で快適に過ごせる空間づくりと海浜の活用を図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

・海浜保全に係る業務、神奈川県・鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市サーフ90ライフセービング支援業務を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	439	448	当初予算(千円)	468		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	439	448	一般財源	468		
	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	0.5		
	人件費(千円)	7,712	8,160	人件費(千円)	5,385		
事業経費運営	総事業費(千円)	8,151	8,608	総事業費(千円)	5,853		
	市民1人当りの経費(円)	46	49	市民1人当りの経費(円)	33		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である 協働実施済の場合のパートナー ライフセービングクラブ

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	海浜利用者の安全確保のため、引き続き監視・救助等のライフセービング活動を行うサーフ90ライフセービングクラブの活動に支援金の交付をする必要がある。また、海浜保全と海岸利用者の安全確保を図るため、海岸ルールの周知看板や、車両進入を防ぐために、海岸入口に設置したポールは修繕を行う必要がある。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	・近年は、海水浴シーズン以外でもマリンスポーツ等への関心が高く、海岸利用のニーズは大きい。 ・海岸利用者のマナーを向上させ、海浜保全と安全利用を図るため、県や関係機関、団体と連携して、海岸利用ルールの周知啓発を行っていく必要がある。
-------------------	---

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 海水浴場開設時期以外でも海浜の利用者は多く、「鎌倉 海・浜ルールブック」に即さない行動をする利用者が依然として見受けられる。海浜利用者の救護支援を行うサーフ90ライフセービングクラブ支援事業について、県及び藤沢市、茅ヶ崎市と本市で広域連携し、定期的に協議を行い、引き続きライフセービング事業の支援を行っていく必要がある。 適切な海岸利用を促進するため、海浜の保全を目的として設置した看板等について必要な修正及び修繕を行っていく。 	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> 海水浴開設時期以外での海浜利用者の安全確保を図るため、海浜利用者の救護支援を行うサーフ90ライフセービングクラブ支援事業に対し費用負担を行った。 海浜の保全を目的として設置しているポールや看板の修繕を行った。 海浜の保全を図るため、海浜利用者のルールをまとめた「鎌倉 海・浜ルールブック」を活用し、周知啓発を行った。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 海水浴場開設時期以外での海浜利用について、引き続き安全を確保する必要がある。 依然として海浜利用のルールを守らない利用者がいる。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市	神奈川県	藤沢市	茅ヶ崎市				
他市実績	270,000円	810,000円	270,000円	270,000円				
	県の1/3	事業費の1/2	県の1/3	県の1/3				

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	ボランティアによる清掃活動回数					単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
市民主体型の漂着ゴミ清掃活動実施回数が、市民意識の高まりと海岸保全状況を測ることができるため	目標値	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0			
	実績値	3.0	3.0	2.0	3.0	3.0	2.0			
	達成率	100.0%	100.0%	66.7%	100.0%	100.0%	66.7%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	海岸清掃については、ボランティアによる清掃イベントを海岸美化の周知啓発事業として継続的に実施できている。
-----------------------	--